さよならの飛沫

瀬戸内愛

潮のにおいがして
汗で身体にまとわりついたシャツに
蠅が止まる

ほんのすこしでも
しあわせにいきて
いきて
いく
人がいた

路側帯を越えて
夕凪へと漕いでいく
いく
人がいた

向こう側の歩道に
七色の紙テープを道路へ投げて
必死に手を振る人がいた